

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名称：「グローバル政策ネットワークと国際機関—東アジア通貨金融秩序を中心に—」

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

京都大学公共政策大学院

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 A「国際制度の衰微と再生の政治経済分析」（代表：鈴木基史 京都大学公共政策連携研究部・教授）

財団法人 アジア太平洋研究所

3 開催日時：令和元年6月28日（金） 13時30分～17時00分

4 開催場所：京都大学国際科学イノベーション棟シンポジウム・ホール

5 開催趣旨：

現今、グローバル化が進展する中で、経済変動、気候変動、伝染病、人口移動などのグローバル問題の深刻化が懸念されている。その一方、国家間対立やポピュリズムによって国際政治が機能不全に陥っている状況で、問題解決に向け、国際機関と国家行政機関を連携したグローバル行政ネットワークに対する期待が高まっている。学問においても、グローバル行政ネットワークを考察する思考の枠組として、脱政府間主義やグローバル行政法などが提示され、その実態、課題、国際政策協調の可能性などについての研究が進展している。本フォーラムは、このような前提に立って、関係分野の研究者2名程度、国際機関の代表者、日本政府の代表者を糾合し、学問とグローバル行政との連携とその問題について多角的に議論すること目的とし、一般および大学生、大学院生、教職員などに公開するものである。京都大学で開催予定の本フォーラムでは、東アジアにおける通貨金融問題に焦点を当てる。

6 参加人数：

講演者等：7名

その他の参加者：65名

7 特記事項：

- ① 読売新聞 6月13日朝刊 関西経済面での紹介記事
- ② 2018年11月3日開催の日本学術会議国際政治分科会会合にて本企画の承認。
2019年7月16日開催の日本学術会議国際政治分科会会合にて結果報告。
- ③ 2019年7月18日開催の京都大学公共政策教育部教授会にて結果報告。